

2021 年 8 月 23 日

東京都知事 小池百合子様

世田谷の教育を考える会	世田谷区地区労働組合協議会
世田谷こどもいのちのネットワーク	市民連合めぐろ・せたがや
新しいせたがやをすすめる会	世田谷市民運動いん
世田谷区労働組合総連合	
戦争はごめんだ、いのちを守るオールめぐろの会	CAN めぐろ
平和と革新をすすめる目黒懇話会	目黒保育問題協議会
目黒区原水爆禁止協議会	めぐろ平和委員会
新日本婦人の会目黒支部	目黒地区労働組合協議会
めぐろユニオン	東京土建一般労組目黒支部
NKM&MePuCi	目黒学者の会

パラリンピック「学校連携観戦」の中止を求める要請書

私たちは、目黒区・世田谷区内で学校教育に関心をもち活動をしている市民の集まりです。

パラリンピックが8月24日から9月5日が開催されます。8月16日、政府、東京都、大会組織委員会、国際パラリンピック委員会の4者協議で原則無観客としましたが、障害者の理解を深める機会にと「学校連携観戦プログラム」は、希望者のみで実施と決めました。その後の会見で都知事は、都民へ外出のより一層の自粛と子どもたちの修学旅行は中止としたにもかかわらず、「学校連携観戦プログラム」は実施したいと表明しました。

現在、東京都は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が9月12日まで延長され、感染力の強いデルタ株など変異株ウイルスの割合が増し、ここ数日間の都内の一日あたりの感染者数は5,000人台が続いています。宿泊療養をはじめ医療体制はひっ迫し、自宅療養は26,000人（累計）を超え、10代以下の感染者数も2万人（累計）を超え、8月20日の世代別感染者数は、10歳未満が303人、10代が518人となり年初の10%から13%となり増加傾向が続いています。このような状況での観戦は、大変危険です。

また、子どもの感染が増えている中、学校は新学期をどのような形で行うか、感染力が桁違いに強いデルタ株のコロナ対策に向けた検討の真最中であり、教職員への負担も大きくなります。

以上の点から、子ども達のいのちと安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の災害医療に突入した現局面におけるパラリンピック「学校連携観戦」を中止すべきです。

都知事には子ども達のいのちを守る責任があります。私たちは、子どものいのちを最優先に考える東京都でありたいと考えます。

都知事におかれましては、パラリンピック「学校連携観戦」の中止の英断をなさるよう、ここに強く要請します。

以上

